

令和 6（2024）年度ユネスコスクール活動調査の結果（概要）

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）では、文部科学省から委託を受け、ユネスコスクールと ESD（持続可能な開発のための教育）の推進を目的として、ユネスコスクール活動調査を毎年おこなっています。この度、令和 6（2024）年度の調査結果を取りまとめましたので公表します。

1. 調査結果から見る主な成果

① 国内外の学校との交流について（図 9、図 10）

図 9 において、「国内の学校と交流した」学校が 53.2%（前年度比 9.8 ポイント増）、「国外の学校と交流した」学校が 35.7%（前年度比 2.8 ポイント増）となった。学校間交流を行ったと回答する割合はここ数年着実に伸びており、ユネスコスクールが学校間交流による学びあいを目的の一つとする「ネットワーク」であることへの理解が進みつつあると考えられる。また、図 10 において学校間交流を実施するようになったきっかけとして 33.3%の学校が「ユネスコスクールに認定されたため」と回答しており、ユネスコスクールへの加盟が国内外の学校との交流を始める後押しとなっている。交流の意義や成果を実感することで継続的な取組につながっていくよう、適切な支援を提供することが求められる。

② ESD の推進拠点としての活動成果の発信（図 25、図 26）

ユネスコスクールに係る教育活動の実践等の発信、理念の普及に「努めた」と回答した学校は 83.9%（前年度比 2.9 ポイント増）と高い割合を維持している。また、その発信・普及方法として、「学校の公式ウェブサイト・SNS」59.8%（前年度比 2.5 ポイント増）、「ユネスコスクール全国大会等他の機関主催の研修会等で実践事例発表」15.0%（前年度比 3.1 ポイント増）の回答がそれぞれ増加した。より拡散力が高いツール、外部リソースを活用した方法が採用され、学校の発信力向上の兆しが認められる。

③ SDGs の 17 の各目標に対する取組について（図 29）

SDGs の 17 の目標のうち、教育活動の題材として取り上げた内容に関連する目標上位 5 つは下記の通りである。順位は前後しているものの、前年度と同じ目標が 5 位以内を占める結果となった。一方で、ほぼすべての目標においてポイントが上昇し、また目標間の回答割合の差は前年度より縮小傾向である。各校でより広範に多様なテーマの活動に取り組んでいることがうかがえる。

- ・ 目標 11（持続可能な都市）—58.5%
- ・ 目標 12（持続可能な生産と消費）—33.3%
- ・ 目標 4（教育）—32.5%
- ・ 目標 16（平和）—32.2%
- ・ 目標 3（保健）—31.0%

④ ユネスコスクールで育みたい資質・能力の明確化とその評価について（図 32、図 33）

図 32 において、ユネスコスクールにおける教育活動を通じて育みたい資質・能力を「明確にしている」と回答した学校は 92.7%にのぼり、前年度より 10 ポイント増加した。また、図 33 において、ユネスコスクールの教育活動を通じて身に着いた資質・能力を捉えるための評価を「している」と回答した学校は 71.1%（前年度比 3.2 ポイント増）であった。

数値的な評価になじみにくいとされる ESD などにおいても、評価の重要性が認知され、各校で効果的な評価手法に対する知見が蓄積されてきている。

2. 調査結果から見る主な課題

① 国際デーについて（図 28）

ユネスコスクールは、国際連合が定める「国際デー」を記念する活動を毎年少なくとも 2 回実施することが加盟継続要件の一つとされているが、「行っていない」との回答が 79.5%に上った。前年度と比較して 5.1 ポイント減少し、改善はみられるものの、更なる周知が必要である。また、「国際デー」に関する取組の好事例の共有など、具体的な活動のヒントを提示していくことも有益であろう。

② ユネスコスクール活動支援の活用について（図 38、図 39、図 41）

ユネスコスクール事務局の利用状況について「特になし」の回答が 38.6%、ユネスコスクール公式ウェブサイト「利用しなかった」との回答が 29.8%、と経年比較で改善はみられるものの、未だ身近な存在や情報源として十分に認識されているとは言い難い状況である。同様に ASPUnivNet からの協力や支援について「特になし」の回答が 76.9%となっており、ここ数年高止まりしている。引き続き、ユネスコスクール全国大会、地方セミナーや定期レビュー等で支援メニューを明示し、周知していく必要がある。

3. 調査の概要

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）が文部科学省の受託調査として令和 6（2024）年 12 月 19 日～令和 7（2025）年 2 月 14 日に実施。調査内容は令和 6（2024）年度の学校の実践（令和 6（2024）年 4 月～令和 7（2025）年 3 月）を対象としている。国内のすべてのユネスコスクール加盟校に対してウェブによる回答協力を依頼し、342 校（回答率約 35.0%）から回答を得た。

（調査実施元）

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL:03-5577-2852 FAX:03-5577-2854

E-mail:webmaster@accu.or.jp

ユネスコスクール公式ウェブサイト:<https://www.unesco-school.mext.go.jp/>